

あなたならどうする？ ～臓器移植～

高校1年生

I アクティビティーについて

ねらい

臓器移植をめぐるロールプレイを通して、自他の生命の大切さを自覚し、尊重する態度を養うとともに、生命あるものはみな、互いに支え合って生きていることの認識を深めさせ、生命を尊重する態度を育てる。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎生命尊重
- 自己尊重の感情
- 人間の尊厳・価値の尊重

設定の理由

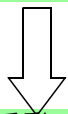
この発達段階の生徒は、生命の大切さを一般論や建前論としては理解しているものの、他者への配慮を欠いた自己中心的な姿勢から、実際の行動面では、暴力行為や自傷行為など、生命尊重とは相反する行動が見受けられる。

自他の生命について多面的・多角的に考察し、その尊厳と価値を認識し、尊重しようとする精神や態度を培うことは青年期の発達課題のひとつである。

そこで、臓器移植を題材に取り上げ、レシピエント（受給者）、ドナー（提供者）及びその家族など、関係者の様々な立場に立って、その思いや願い等を感じ、考慮する体験的な学習に取り組みさせることで、生命の大切さの認識を深めさせるとともに、生命を尊重しようとする態度を育てたい。

アクティビティーの概要 (3時間扱い)

活動1 シナリオづくりをする。 1時間
・シナリオシートをもとに、臓器移植にかかるシナリオづくりにグループで取り組む。



活動2 作成したシナリオにもとづき、ロールプレイを行い、話し合う。 2時間

アクティビティーの実際

- 準備するもの
 - ・シナリオシート
 - ・ふり返しシート
 - ・リンク集・参考資料集
 - ア 日本臓器移植ネットワークHP
 - イ 日本組織移植学会HP
 - ウ 脳死・臓器移植に反対する関西市民の会HP
 - エ 臓器の移植に関する法律

- アクティビティーの進め方

活動1 シナリオづくり

- ① 8人程度のグループを作る。
- ② シナリオづくりのやり方を説明する。

＜教師の説明＞

「シナリオシート」を配ります。グループで協力して、場面設定を踏まえたシナリオを作ってください。次回、作成したシナリオに基づいて、5分程度で実際に演じてもらいます。中学校社会科や現代社会の授業で行った臓器移植問題に関する学習をもとに、それぞれの配役の立場・心情を推察したシナリオになるように心掛けてください。なお、衣装やセットについては、あまりこだわり過ぎないようにしてください。

- ③ 教師はグループを回りながら、支援を行う。
(必要に応じて、リンク集・参考資料集を提示する)

活動2 ロールプレイ

- ① ロールプレイのやり方を指示する。

＜教師の説明＞

前回作成したシナリオに基づいて、グループごとに演じてください。他のグループが演じている時は、静かに見ていてください。「ふり返しシート」を配りますので、ロールプレイが終わったら、感じたことや考えたことを記入してください。その後、グループで話し合い、クラス全体で発表しましょう。

- ② グループごとにロールプレイを行うようにする。
(教師は、計時を行う。)

- ③ 全てのグループが終了したら、感じたこと・考えたことを「ふり返しシート」に記入できるようにする。
- ④ グループ内で感想を述べ合った後、代表者にクラス全体に発表させ、話し合う。そして、自他の生命の大切さを確認する。

＜ふり返りの留意点と発問例＞

○このアクティビティーについてどう感じて、何を考えたか、いかに命が大切であるか、大切な命を生かすにはどうすれば良いのか、生徒が学んだことを発表できるようにする。

発問例

今回の活動を通して、感じたこと・考えたことを発表してください。

アクティビティーを指導するポイント

- ◇ 現代社会の授業と連携して、事前に臓器移植問題に関する基礎的事項を扱ったり、必要に応じて、家族へのインタビューを実施するのも効果的である。
- ◇ 臓器移植自体の是非に終始しないように配慮する。
- ◇ 推進派・反対派の両方の主張に目を配らせる。
- ◇ 生徒の実態によっては、ロールプレイの代わりにディベートを採用することも有効である。
- ◇ グループ討議・意見発表で出された提案で、採用可能なものがあれば、具体的な行動に繋げていくことも有意義である。
- ◇ グループを編成する際は、日頃の生徒同士の間人間関係を十分に把握し、教師自身が編成するようにする。
- ◇ グループでのロールプレイ終了後、役割と本人とを切り離すことが大切である。そのために、教師は、学級全員に聞こえるように「みなさん、ロールプレイは終わりです。もう、役は終了しました。」と、告げるようにする。

Ⅱ 授業展開例

～高校1学年「総合的な学習の時間」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">シナリオを作成してロールプレイをやってみよう</div> 1 アクティビティのやり方の説明を聞く。 2 シナリオを作成する。	○グループ分けは人間関係に配慮し、教師が事前に編成しておく。 ○グループのメンバーが協力して作成できるようにする。 ○教師はグループを回りながら、支援を行う。 ○言葉だけでなく、身振り手振りも交えて現実的状况を再現するようにする。ただし、衣装やセットに拘り過ぎないようにする。
2	1 作成したシナリオをもとに、ロールプレイを行う。 2 感じたことや考えたことを、ふり返りシートに記入する。 3 ふり返りを行う。 ・感想や気づいたことをグループ内で話し合う。 ・結果をクラス全体に発表し、クラス討議を行う。 4 学習のまとめをする。	○演じる順番は、教師が事前に決めておく。 ○計時は、教師が行う。 ○様々な立場から、当事者として、考察することの難しさと同時に、その大切さにも気づくようにする。 ○自分を含めた全ての人の生命が大切であり、尊重されなければならないことを認識できるようにする。 ○お互いに支え合って生きていることのありがたさに気づくようにする。 ○今、自分たちにできることを検討させる。

Ⅲ 資料

(1) シナリオシート

あなたならどうする? ～臓器移植～
「シナリオシート」

これまでの臓器移植問題に関する学習をもとに、グループのメンバーと協力して、それぞれの配役の立場・心情を推察したロールプレイ(5分程度)のシナリオを作成しよう。

■場面設定

会社員Aさんが交通事故に遭った。その父B・母Cは、医師DからAさんの脳死を宣告された。また、Aさんが生前、臓器提供の意思を持っていたことを知った。

重病を抱える高校生E君は、医師Fから治療には臓器移植が必要との診断を受けており、その父G・母Hとともに臓器提供者の出現を待ち望んでいた。

■配役

会社員A		高校生E	
父B		医師F	
母C		父G	
医師D		母H	

■シナリオ

(2) ふり返りシート

あなたならどうする? ～臓器移植～
「ふり返りシート」

1年 組 番
氏名

- 1 シナリオを作成している時に何を感じましたか?

- 2 ロールプレイを演じてみてどのように感じましたか?

- 3 他グループのロールプレイを見てどのように感じましたか?

- 4 命の大切さ(大切な命を生かすこと)について、
(1) ロールプレイの後で、どのように考えましたか。

(2) グループ討議の後では、どのように考えましたか。

- 5 自他の生命を尊重するために、今、自分たちでできることはありますか? それは何ですか?